

第二二七回

川崎市定期能

第一部

12時30分開場
13時00分開演

第二部

15時00分開場
15時30分開演

狂言

入間川

【しらまがわ】

三宅右近(和泉流)

狂言

鐘の音

【かねのね】

三宅右矩(和泉流)

能

楠露

【くすのぎ】

梅若桜雪(観世流梅若会)

能

楊貴妃

【やうきひ】

角当行雄(観世流梅若会)



能「楊貴妃」角当行雄(撮影:吉越研)

2022年12月10日(土) 会場:川崎能楽堂

入場料(全席指定):各部 正面席 4,500円、脇正面・中正面席 4,000円

U25 3,000円

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。来場時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

■チケット発売 2022年11月7日(月)10:00より発売(先着順) *全ての販売方法において座席選択が可能です。*取扱い座席は全て共通です。

■販売方法

電話申込

①川崎能楽堂 TEL.044-222-7995(10:00~17:00、水曜日休日)

②カンフェティ TEL.0120-240-540(平日10:00~18:00)

*①・②共にセブンイレブンでの支払・引取になります。*①・②共にサービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。

インターネット
申込

カンフェティ https://confetti-web.com/kbz_noh127

*事前会員登録が必要です(登録無料)。

*クレジット決済・セブンイレブン支払が選択でき、引取はセブンイレブンになります。

*サービス利用料(¥110/枚)、発券手数料(¥220/枚)が掛かります。

窓口申込
※11月7日から

川崎能楽堂 川崎市川崎区日進町1-37(10:00~17:00、水曜日休日)

*残数があれば11月8日(火)10:00より販売いたします。*支払いは現金のみになります。



カンフェティ



川崎市文化財団

主催 公益財団法人 川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647

後援 「音楽のまち・かわさき」推進協議会

*開演後にはご入場いただけない場合がございます。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、日時・内容・出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。

*新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いいたします(詳細は川崎市文化財団ホームページをご確認ください)。



KAWASAKI
SDGs

川崎市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

定期能をより楽しむための
事前講座

- ◆日時:2022年11月27日(日)13:00~14:30 ◆会場:川崎能楽堂
- ◆講師:角当直隆(観世流梅若会・シテ方)、内藤幸雄(観世流梅若会・シテ方)
- ◆定員:148名(先着順) ◆料金:無料

*第127回川崎市定期能チケットご購入者が対象となります。

*受講をご希望の方はチケットご購入の際にお申し出いただくか申込フォームよりお申し込みください。



事前講座申込フォーム

【第一部】13時開演（12時30分開場）

狂言 入間川

シテ大名 三宅 右近

アド 太郎冠者 三宅 近成
小アド 入間の何某 三宅 右矩

子方楠木正行 角当 美織
トモ 正成の従者 坂口 貴信

ツレ 恩地満一 梅若 直隆
シテ楠木正成 角当 桜雪

能 楠露

大鼓 安福 光雄
小鼓 観世新九郎

後見 川口 晃平 内藤 幸雄 永島 充
谷本 健吾 地謡 松山 隆之 鈴木 啓吾
坂 真太郎 山崎 正道

狂言 入間川【いるまがわ】

東国の大名(シテ)は都での訴訟が済み、太郎冠者(アド)を連れて帰国する途中で大きな川に行き当たります。通りかかった男(入間の何某・小アド)に川の名と渡り瀬歩いて渡れる浅瀬を問うと、男は「この川は入間川で、ここは川底が深く浅瀬はもつと上流にある」と答えます。すると大名はこの地方に流行る入間様(逆言葉)で答えたものと思い、川を渡り始めて……。

能 楠露【くすのつゆ】

足利尊氏を討つため新田義貞に加勢することになった楠木正成(シテ)は、兵庫へ下る前に従者(トモ)に命じて家臣の恩地満一(ツレ)を呼び出し、子の正行を伴い参るよう命じました。戦に行すると譲らない正行に対し正成は、このたびの戦において自らは討死するであろうから、満一と共に故郷へ帰り、成長した後に朝廷へ忠勤して自分の意志を継ぐよう諭します。そして正成は二人に対して、このような戦へと出陣しなければならぬ哀情の覚悟、そして獅子の親は数千丈の高さの崖から子供を投げ落としてその気力を試すという言い伝えを語り、自分の言うことをよく耳に留め、跡を継いで、命ある限りは朝廷に尽くすようにと正行へ言い残し、正行は涙ながらに承知します。満一は、親子主従の別れに心を打たれて涙し、別れの酒宴で誠忠をたたえ舞を舞います。やがて、正行と満一は涙ながらに正成と別れて故郷へと帰ってきます。

【第二部】15時30分開演（15時開場）

狂言 鐘の音

シテ太郎冠者 三宅 右矩

アド主 前田 晃一

能 楊貴妃

シテ楊貴妃 角当 行雄

大鼓 安福 光雄
小鼓 観世新九郎

後見 松山 隆之 小田切亮磨 坂 真太郎
山中 遼晶 地謡 川口 晃平 山崎 正道
坂口 貴信 鈴木 啓吾

狂言 鐘の音【かねのね】

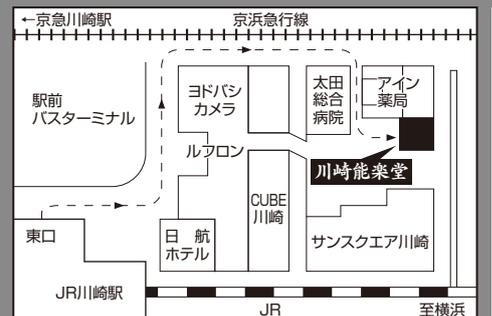
主人(アド)に鎌倉へ行って金の値を聞いて来いと言いつけられた太郎冠者(シテ)は、鐘の音と間違え、寺々で鐘の音を聞き比べて帰ってきます。冠者が主人に各寺の鐘の特徴を得々と報告すると、主人は怒り出し、冠者を追い出してしまう。冠者は主人の機嫌を直そうと、寺々で鐘の音を聞いたことを謡に作って舞い、機嫌を直そうとしますが……。

能 楊貴妃【ようきび】

唐の玄宗皇帝は、安祿山の乱により亡くなった楊貴妃を忘れられず、配下の方士(ワキ)に、楊貴妃の魂を探し出すよう命じました。方士は仙術を駆使して楊貴妃が死後転生した蓬萊宮に至り、そこに住む者(アイ)から、楊貴妃の居場所を聞き出します。方士が教えられた太真殿に行くと、宮殿から楊貴妃(シテ)が現れます。

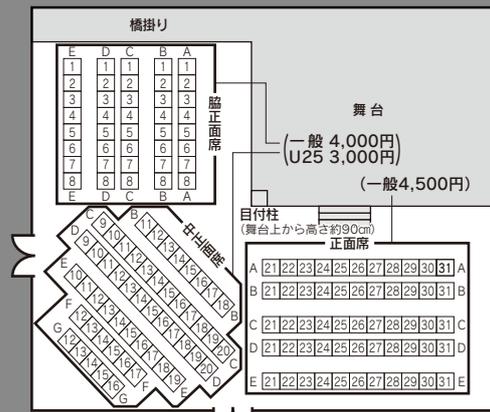
方士は楊貴妃に、玄宗皇帝の悲しみ、嘆きの深さを訴えるとともに、楊貴妃と会った証拠に形見の品がほしいと申し出ました。楊貴妃はこれに応え、髪に挿していた釵を、方士に渡そうとします。ところが方士は、よくある品物では証拠にならない、玄宗と楊貴妃との間で人知れず交わされた言葉があれば、それを証にしたいと伝えます。楊貴妃は七夕の夜に比翼連理の誓い(天にいれば翼を並べて離れない鳥になろう、地にいれば枝を連ねて離れない木となろう)を交わしたと打ち明けます。楊貴妃は、玄宗との思い出を語り舞を舞いました。方士は釵を持って現世へ去り、楊貴妃は独り涙に伏し沈むのでした。

川崎能楽堂案内図



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂 (9:00~17:00※水曜定休日)
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂座席表(148席)



※U25券は臨正面席・中正面席のみ選択可。
※C列、E列は前の列より一段高くなっています。

次回公演のお知らせ

野村万蔵による芸能サロン
～狂言を楽しもう～

開催日:2023年1月22日(日)14:00開演
演目:解説 野村万蔵
狂言「清水」野村万之丞
狂言「茶壺」野村万蔵
チケット発売:12月19日(月)より川崎能楽堂にて
発売予定(先着順)

第128回川崎市定期能～観世流～

開催日:2023年3月11日(土)
演目:【第一部】12:30開場 13:00開演
狂言「饞頭」山本則孝
能「源氏供養」観世恭秀
【第二部】15:30開場 16:00開演
狂言「千鳥」山本泰太郎
能「鶴飼」田邊哲久、岡本房雄
チケット発売:2月6日(月)より川崎能楽堂にて
発売予定(先着順)

※都合により日時、内容、出演者等変更になる場合もございますので予めご了承ください。